

## アオタマムシ

*Eurythrea tenuistriata* Lewis

【選定根拠】 b 分布域の一部で生息条件悪化

【形態】 体長16～28mm。上翅は金属光沢のある明るい緑色をしており、上翅両側は金色ないし金赤色を呈しており、非常に美しいタマムシである。

【分布】 本州、四国、九州に分布しており、福島県大熊町が今のところの北限となっている。

【県内の分布、生息状況】 いわき市から大熊町の阿武隈高地で見つかっている。阿武隈高地の針広混交林では今のところ個体数は少なく、モミやアカマツなどの立枯れ木から発見される。

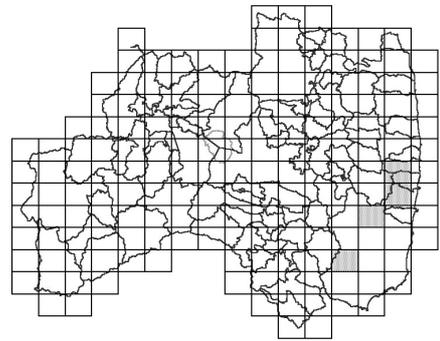
【生息に影響を与えている要因】 森林伐採

【特記事項】 本種の食樹であるモミが、生息域において選択的に伐採されているため、その保護が望ましい。

福島県楡葉町から記載されたイワキアオタマムシ *E. obenbergeri* Y. Kurosawa は、本種の異常個体と見なされるようになってきている。

【主要文献】

- 大桃定洋(1976)福島県いわき市のタマムシ5種. ELYTRA, 4(2): 356-36.
- 田添京二(1977)福島県産甲虫覚書(その九). 福島生物, (20): 1-5.
- 大桃定洋(1978)阿武隈山地のタマムシ4種. ELYTRA, 6(2): 66-67.
- 坂口春典(1987)福島県いわき市でアオタマムシを採集. 月刊むし, (196): 39.
- 大桃定洋・進藤健朗・田添京二(1998)福島県のタマムシ. ふくしまの虫, (16): 27-38.



## アサカミキリ

*Thyestilla gebleri* (Faldermann)

全国カテゴリー；準絶滅危惧

【選定根拠】 a 分布域の一部で個体数が減少 b 分布域の一部で生息条件悪化

【形態】 体長10～15mm。上翅は黒色で会合線と側縁に灰白色の縦条を持っているが、時に上翅全体が灰白色の微毛で覆われるものもある。

【分布】 本州、四国、九州、隠岐に分布しており、本県が今のところ北限となっている。

【県内の分布、生息状況】 西郷村1ヶ所からしか見つかっていない。名前のとおり、戦前は栽培されていたアサの害虫であったが、最近の記録はほとんどがアザミ類からのものである。

【生息に影響を与えている要因】 草地開発

【主要文献】

- 大桃定洋(1994)県南地方の甲虫分布資料(その5. 追加記録). ふくしまの虫, (12): 33-67.
- 水野谷昭三(2000)西郷村のアサカミキリ確認に成功. ふくしまの虫, (19): 51-52.

